



江戸時代に日本橋から京都までをつないだ中山道。中山道には69の宿駅があり、本庄宿は10番目の宿にあたります。宿駅は街道の要所に設けられ、休憩・宿泊のための施設や運送に関わる施設が置かれていました。宿泊施設のなかでも、諸大名や公家、幕府の役人といった身分の高い人々が宿泊する施設は、本陣や脇本陣と呼ばれ、宿駅のなかでも最も重要な施設でした。

本庄宿には田村本陣と内田本陣という2つの本陣が置かれていました。田村家には大名等の休憩や宿泊の記録をまとめた「休泊控帳」が現存し、寛永19（1642）年から文久3（1863）年までの221年間の記録が残されています。

「休泊控帳」には休泊日、大名の名前、人数、献上品、下賜金、食事内容等が記され、本陣当主の職務にあたる姿をみることでできます。

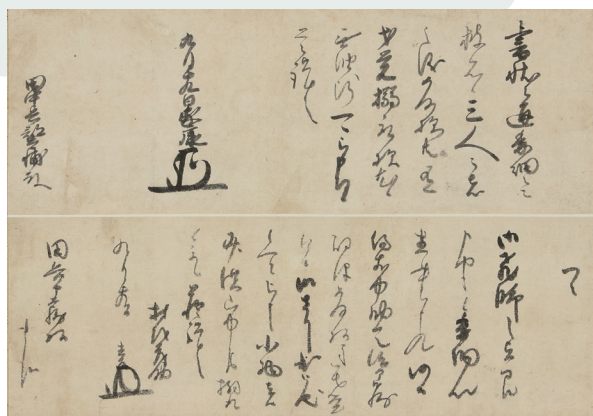
今回の企画展は、中山道51番目の宿である太田宿があった岐阜県美濃加茂市の美濃加茂市民ミュージアムとの共催展です。

企画展では、本陣の機能や大名家とのやりとりについて市所蔵・寄託資料を中心に展示するとともに、早稲田大学所蔵の街道関係資料、美濃加茂市民ミュージアム所蔵の太田宿本陣資料を併せて展示し、多くの大名が通行した中山道とそれを迎えた本陣の姿を紹介します。

会期 2024年10月12日（土）～2025年1月13日（月/祝） 会場 本庄早稲田の杜ミュージアム早稲田大学展示室
開館時間 午前9時～午後4時30分 休館日 月曜日（休日の場合は翌日）・年末年始（12/28～1/3） 入館料 無料

《前期》注目の展示品

紹介した資料をはじめ、中山道や本庄宿、太田宿に関わる資料約60点を展示します
※会期中一部展示替えあり



画像提供 早稲田大学図書館



徳川家康直書・
村越直吉添え状

慶長五（一六〇〇）年
早稲田大学図書館蔵

関ヶ原の戦いの四日後、徳川家康が東軍の武將、田中吉政に敵將を捕らえるよう指示を出した書状。この戦いで覇権を握った家康は、翌慶長六（一六〇一）年に東海道に伝馬の制度をつくり、全国的な街道・宿駅の整備に着手していきます。関ヶ原の戦いは、近世の交通制度にとっても画期となる出来事でした。

同時開催

中山道と本陣

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展

休泊控帳 をひもとく

2024 10/12 (土) - 2025 1/13 (月)

本庄レンガ倉庫
HONJO BRICK WAREHOUSE

会場 本庄レンガ倉庫展示スペース
開館時間 午前9時～午後7時
休館日 年末年始（12/29～1/3） 入館料 無料

本庄宿田村本陣の「休泊控帳」は、寛永19（1642）年～文久3（1863）年まで221年間にわたる休泊記録です。そこには宿泊した数多くの大名たちを迎えた本陣の準備や対応などの様子が書き記され、江戸時代の姿を身近に感じることができます。

企画展では田村本陣が残した「休泊控帳」の記事から本陣の業務や大名へのおもてなしを、具体的なエピソードを交えながらご紹介します。

2024

本庄早稲田の杜ミュージアム企画展

10|12^日 ▶ 12|22^日

埴輪

— 本庄とその周辺地域における
埴輪の導入から終焉まで —



▲ 復元後初公開 長沖十兵衛塚古墳出土の馬形埴輪

面繫・手綱・鞍・鐙などを装着することから、騎乗用の馬を表現していることが明らかです。頭部の形態や造形手法に古墳時代中期の馬形埴輪に通じる様相をとどめていることから、長沖十兵衛塚古墳の築造時期も古墳時代後期初頭から前葉に位置付けられる可能性があります。

本庄市とその周辺地域は、埼玉県内で最も早く埴輪を導入した地域として知られていますが、その後も埴輪をもつ古墳が数多く築かれ、また埴輪窯跡も数か所に所在するなど埴輪づくりがとて盛んな土地でした。

企画展では、本庄市や周辺地域で出土した埴輪のなかから、とくに注目すべき資料を体系的に集成し、当地域での埴輪の出現から終焉までの姿を紹介します。



注目の展示品

紹介した資料をはじめ、埼玉県立さきたま史跡の博物館、美里町教育委員会、寄居町教育委員会からお借りした資料を含む 61 件 197 点を展示します



◀ 復元後初公開 塚合出土男子人物埴輪

髪を上げ美豆良に結び、円錐形の笠を被り、頸には玉を連ねた飾りをつけています。笠を被る上げ美豆良の男子は古墳時代後期後半段階に見られる器種で、鍬を担いだ姿で表現されることもあり、「農夫」と紹介されることの多い埴輪です。古墳築造者の意図としては、墳丘の築造に際し、土木作業を担当したメンバーを造形させたのかも知れません。

会期 2024年10月12日(土)～12月22日(日) 会場 早稲田サテパーク・コミュニケーションセンター 2階情報資料室
開館時間 午前9時～午後4時30分 休館日 月曜日(休日の場合は翌日) 入館料 無料

ワークショップ



開催日 10/26^土 - 27^日

自然乾燥で固まる粘土をこねて、のばして、積んで、
全長約15センチのオリジナルミニ埴輪をつくります

時間 午前10時～、午後2時～ (各日2回) ※体験時間の目安は約90分
対象 どなたでも
定員 各10名(事前申込制/先着順)
費用 200円(土器製作キット代)
用意 汚れてもよい服装
申込 10月13日(日)午前9時からいずれかの方法でお申し込みください
①電話 ☎0495-71-6878
②本庄早稲田の杜ミュージアム 来館

ご来館時の注意事項

本庄市マスコット「はにぼん」のモデルとなった盾持人物埴輪1点は、東京国立博物館及び九州国立博物館で開催される特別展「はにわ」出展のため、9月末から2025年6月まで見学できません

本庄早稲田の杜
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM
ミュージアム

所在地 本庄市西富田1011 早稲田サテパーク・コミュニケーションセンター(早稲田大学93号館)1階
開館時間 午前9時～午後4時30分 入館料 無料
休館日 月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12/28～1/3)
問合せ ☎0495-71-6878 FAX 0495-71-6879 ✉hwmm@city.honjo.lg.jp



本庄早稲田の杜
ミュージアム HP